

『アート×演劇』で彩る

ひろしまナイトミュージアム

「私の黒い猫を見なかったかね」、薄暮の美術館でランプを持ったゴッホの語りで始まる新たなアート体験「ひろしまナイトミュージアム」についてご紹介します。

新たな美術の楽しみ方を提案

「ひろしまナイトミュージアム」は広島県観光連盟が「ナイトタイムエコノミー」※「推進を目的に企画したイベントで、ひろしま美術館と富裕層向けの観光コンテンツを提供するエクスペリサス株式会社（東京都、丸山智義社長）が共同して開催しています。

（※ナイトタイムエコノミー：夜の時間（18時から翌朝6時まで）に行われる観光、娯楽等などを通じて経済を活性化させる考え方や取り組み。

本イベントでは、ゴッホやセザンヌ等に扮した役者が「ドービニーの庭」（ゴッホ作）をはじめ、ひろしま美術館が所蔵する名作6点について、それらが描かれた時代背景や画家同士の交流エピソードを交えながら紹介していきます。役者が画家

を演じながら作品を説明するというエンターテインメント性を取り入れた鑑賞方法は、日本でも初めての試みといい、絵画にあまり詳しくない人でも楽しめると好評を博しています。

映画監督の^{いちおな}一尾直樹氏が脚本を担当、ひろしま美術館の学芸員が監修し、地元劇団「グンジョーブタイ」のメンバーが画家達を演じるなど、地域の人を活かしつつ、地元にお金を落とす仕掛けづくりにもこだわった企画となっています。

多彩な魅せ方が可能に

「ひろしまナイトミュージアム」の参加料金は5,250円／人で、各回の定員を20人としてい



▲ナイトミュージアムに観客を案内するゴッホ（資料）筆者撮影（以下同様）

ます(2021年4月現在)。イベント前はウェルカムドリンクでもてなされ、閉演後には役者とのフォトセッションができるなど、ちょっとしたプレミアム感が演出されています。

ほのかな明かりの中で、語り掛けるような口調



▲「ドービニーの庭」(ゴッホ作)の説明をするモネ

によるストーリーを聞いていると、まるで作品が描かれた時代にタイムスリップした感覚を味わえます。セリフを通して画家の苦悩や喜びに触れることで、一人ひとりがより深く作品に向き合う時間を持つことができます。

本イベントは、感染予防の観点から少人数で開催していますが、「アート×演劇」を基本に、「より少ない人数でリラックスして閉館後の美術館を楽しむ」といった国内外の美術ファン向けのアプローチや、小中学校の修学旅行に組み入れて芸術に触れる機会を提供するなど、構成を組み合わせることにより、様々な応用も可能です。

美術館に限らず、さまざまな展示や場所などを「〇〇×演劇」に当てはめてプランニングをすることで、「魅せるコンテンツ」への可能性が広がります。

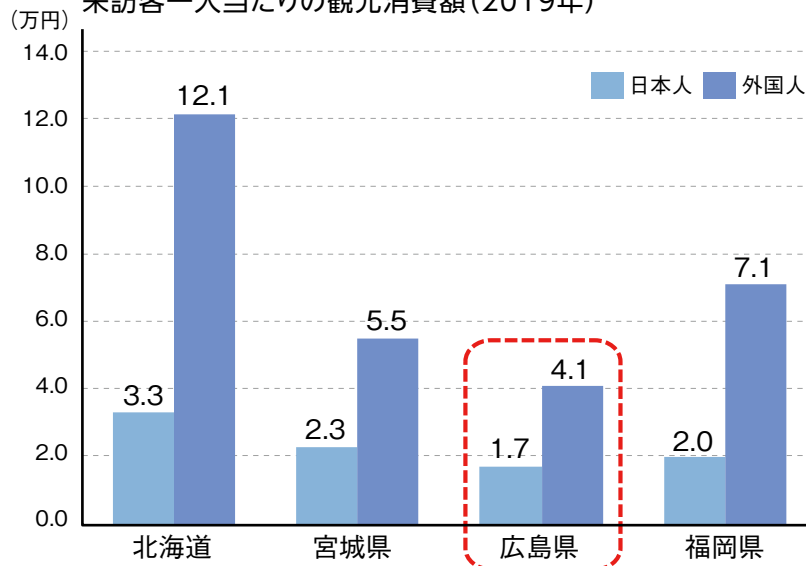
インバウンド需要にも対応

広島県は、他の都道府県と比べて観光消費額が少なく、滞在時間を延ばすことで宿泊や飲食等の需要を喚起する夜間の新たな観光プロダクト(＝観光地の魅力向上)の開発が求められてき

ました。

広島県ではこれまでも「夜神楽公演」や「広島城のライトアップ」等、ナイトタイムエコノミーの推進に取り組んでおり、「ひろしまナイトミュージアム」もその一環として、当初は旺盛な消費が期待できるインバウンド向けに企画されました。

来訪客一人当たりの観光消費額(2019年)



(資料) 観光庁「旅行・観光消費動向調査」「訪日外国人消費動向調査」を基に
(株) ひろぎんHD経済産業調査部作成

近年、インバウンドの興味や関心は、ショッピング等のモノ消費から、体験型観光をはじめとするコト消費にシフトしており、特に広島県に多く訪れる欧米豪からの観光客にその傾向が強くみられるためです。

瀬戸内をアートで繋ぐ

また、今回のイベントの企画を担当したエクスペリサス株式会社の丸山社長は、観光消費額を増やすためには、イベントを散発的に開催するだけでなく、一つのテーマを決めて、関連する様々な場所や内容を組み合わせて滞在時間を延ばす取り組み、すなわち「周遊ルート」の造成が重要といえます。

瀬戸内地域では、「瀬戸内国際芸術祭」が3年に一度開催され、回を追うごとに外国人を含めた来場者数は増加しています。また、直島（岡山県）、豊島（香川県）等は現代アートの島として知名度が向上しています。そこで、アートをテーマに、多言語対応とした「ひろしまナイトミュージアム」とこれら地域を結びつけることで、瀬戸内の島々を周遊後広島市で一泊する、というよう

なルートの造成が考えられます。

「アート」は、食や他の様々な観光資源とも連携しやすく、観光コンテンツを点としてではなく面として捉えることで、回遊性を高めることに繋がります。

ここでしかできない体験が価値に

「ひろしまナイトミュージアム」は、広島県内を中心に2021年4月の初回公演には定員の約15倍の応募があるなど、予想を上回る反響がありました。コロナ禍の開催が、地元の人にとって県内の観光資源の魅力を再発見する機会になったのかもしれない。

広島の人に愛され、広島に来なければできない体験は、観光客にとっても付加価値の高いコンテンツになります。人々の往来が自由になったとき、「ひろしまナイトミュージアム」が新たな観光コンテンツとして定着化し、広島島の観光のさらなる活性化に繋がることが期待されます。

（文責：株式会社ひろぎんホールディングス
経済産業調査部）



（提供）公益財団法人ひろしま美術館

●今後の開催については
ひろしま公式観光サイト
「Dive!Hiroshima」
(<https://www.dive-hiroshima.com/>)でご確認ください。

●「ひろしまナイトミュージアム」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常はマスクをつけて演技を行っています。

公益財団法人ひろしま美術館

〒730-0011 広島市中区基町3-2
休館日 月曜日（祝日の場合は翌平日休、特別展会期中は開館）、および年末年始

日本全国 県境・地域を越えた 「様々なビジネスニーズ」にお応えします！

このようなビジネスシーンでお困りではありませんか？



全国の地銀9行連携 「地域再生・活性化ネットワーク」について

経営基盤・営業エリアが異なる地銀9行が、様々な情報・ネットワークを相互に活用することで、地域経済の再生および活性化を図るために構築した広域連携です。

県境・地域を超えて活躍する(今後検討される)お客さまのビジネスニーズ等に対して、全国の各エリアをカバーする地域金融機関が連携・協力して対応していきます。

- ①複数の地方銀行による資金供給(シンジケートローン・協調融資等)
- ②他エリアの地方銀行のネットワーク情報を活用して、M&Aや事業承継における相手方情報をご提供
- ③ビジネスマッチング業務にかかる他エリアの地方銀行のお取引先等をご紹介します



- 【注意事項】
- 本ネットワークは、協定書を締結した地方銀行9行の連携・協力に基づき運営されています。ご利用にあたり、お客さまのご要望・ニーズなど、必ずしもご期待にそえない場合がありますのでご了承ください。(個別具体的なソリューションのご提供を確約するものではありません。)
 - 本ネットワークのご利用を希望される場合は、お近くの取引銀行窓口までお気軽にご相談ください。(ご相談は無料です、但し、個別具体的なソリューションのご提供にあたっては、各銀行所定の手数料等がかかる場合があります。)